

1 【活動の趣旨】

子どもたちが地域の方との交流を通して、自分の生まれ育った「常盤（ふるさと）」のよさを見つけ、愛着や誇りが持てるように学校と家庭、地域が一体となって取り組んだ。

2 【特徴的な活動内容】

○「ときわ探検」（3年生）《志那神社・三大神社・芦浦観音寺》

それぞれの場所で、神社やお寺の方から歴史や言い伝えなどを聞かせていただいた。その後、境内を散策し、お気に入りの場所をスケッチしたり、さらに質問したりして、学習を深めた。常盤学区に住んでいても自分の家から遠いところのことは知らない子どもも多く、また家の近くでも、じっくり話を聞く機会もないことから、自分の住んでいるところにもこんな素敵なおところがあるんだと改めて実感することができた。



【 三大神社 】

○水6 チャレンジ応援団（コミュニティ・スクールくさつ常盤小との連携）

約2週間に一度、水曜日の特設6時間目に、コミュニティ・スクール学校運営協議会委員の方にご協力いただき、5年生の算数を中心に学力向上のためにご指導いただいている。未来の「常盤」を担う子どもを育てるべく、担任等と共に少人数指導を行っている。地域の方の励ましが、子どもたちのやる気につながっている。



【水6 チャレンジ応援団】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・地域の方々の「ふるさと常盤」を愛する思いや後世に伝えていきたいという思いが子どもに伝わるよう、そして、目の前の子どもの実態にあった内容になるよう地域コーディネーターと学校担当者、そして担任を交えて事前の打ち合わせを行ってきた。
- ・正面玄関に「地域協働合校コーナー」を設け、日々お世話になっている地域の方の姿を載せさせていただき、感謝の気持ちを忘れないようにしている。

4 【事業の成果】

昨年度より引き続き、地域コーディネーターをしてくださっている方のおかげで、教職員の担当者に異動があっても、スムーズに活動を行うことができた。また、全国学力状況調査の結果においても、5年生までに地域での学習や地域の方に教えていただいたことは、87.5%の子どもが覚えており、地域の行事に参加している子どもも90%いる。学習を通して地域とのつながりがしっかりできていると感じている。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

せっかく素敵な活動をしているので、子どもたちだけでなく、保護者のボランティアを募って、親御さんも巻き込んで共に学んでいただく機会を増やせばさらに親子で「常盤」について語り合うことができるだろう。子どもたちが大人になったら、ボランティアとして戻ってきてくれることが理想である。